JAグループ兵庫

令和5年1月1日発行（毎月1回1日発行）通巻1395号
昭和24年4月7日　第三種郵便物承認

協同

2023
January
KYODO
1

［新春対談］持続可能な兵庫県の農業に向けて

タッグ！兵庫の農業人

生産者の所得向上と若手生産者の支援に取り組む

Farmer × JA staff
苗村 武大さん
藤尾 充保さん
詳細は裏表紙へ

協同©
令和5年1月1日発行 通巻1395号
昭和24年4月7日 第三種郵便物承認
編集兼発行人 兵庫県農業協同組合中央会 代表理事専務 高品藤吉
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1番地
☎078-333-5870 https://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/
制作協力 株式会社イディー
定価300円 購読料は賦課金に含まれています。

タッグ！
兵庫の農業人
Hyogo-nougyoujin

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中！▶
YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索

今月は JA兵庫西

生産者の所得向上と若手生産者の支援に取り組む

ニンニクの生育状況について話す苗村さん（左）と藤尾さん

生産者
ニンニク生産者
株式会社播磨ライフ
代表取締役
苗村 武大さん

昨年度は高収益化を図るため、自社のホームページを作成し、ニンニクや加工品を販売する仕組みを作ることができました。また、地域から必要とされる農業者を目標に、今後はニンニクの収穫体験やニンニクBBQなどを行っていきたいです！

JA職員
JA兵庫西
揖龍営農生活センター
主任（営農指導員）
藤尾 充保さん

農業全般に関する営農指導や情報提供、また若手生産者への支援に今後も注力していきます！より一層JA兵庫西の農業や地域の活性化を図るため、頑張ります！

株式会社播磨ライフの苗村武大さんは、たつの市で、瀬戸内式の温暖な気候と粘土質の土壌という特性を活かしたニンニク栽培を行っている。

認定新規就農者の苗村さんは5年前に就農し、現在は1.2haの面積で10aあたり500kgの収穫を目標に栽培している。ニンニクは9月中旬に植付けし、5月下旬から6月上旬の2週間にすべて収穫する必要がある。そこで苗村さんは、新たにニンニク専用の大きな冷蔵庫を導入し、芽と茎を切りとり乾燥させたニンニクを冷蔵保存することで、1年中供給することを可能とさせた。

また、高収益化を図るため、早生品種の栽培や黒ニンニク、万能ダレなどの加工品にも力を入れており、特に、「龍野にんにく甘辛佃煮風」は令和4年11月に※ジャパン・フード・セレクションで金賞を受賞するなど六次産業にも積極的に取り組む。さらに、繁忙期には市内の福祉事業所の利用者に協力を求め、ニンニクの植付け、収穫作業を行ってもらうなど農福連携にも取り組んでいる。

ニンニク栽培に関する営農指導・情報提供や苗村さんを含む若手生産者の支援を行っているのがJA兵庫西揖龍営農生活センターの藤尾充保さん。

藤尾さんは営農指導員として、植付けや施肥など農業全般に関する営農指導や、ニンニクに付加価値を付けて販売し高収益化を図るための加工品の提案やアドバイスを行っている。また、故障した機械のトラブル対応や代替機械の提案・情報提供を行っており「栽培や機械に関して困ったことがあれば、すぐに相談しアドバイスをもらうことができて非常に助かっている」と苗村さんは話す。

また、同JAはJA青壮年部「青空会」に加盟している若手生産者同士が意見交換を行う場を設け、ネットワークを構築することで、より良い農業経営を実現できるよう支援している。今後も、生産者の所得向上、若手生産者の持続可能な農業に向け支援を行う。

※一般社団法人日本フードアナリスト協会が2013年より開始した、本格的な食材・食品を評価・認証する制度。

JA兵庫西の所得向上や若手生産者に対する取組み

JA兵庫西は、**ニンニク・加工品に関する営農指導や情報提供**、また**若手生産者が継続して農業が行える**よう ネットワークを構築して、支援する。